2025年度　修士論文

論文題目

名古屋大学大学院

国際開発研究科

学生番号：

氏　　名：

指導教員：

2025年9月

または

2026年3月

【修士論文用】

【For Master's thesis】

**剽窃チェック確認書**

**Confirmation Form for Plagiarism Check**

下記の提出論文について剽窃チェックソフト（Turnitin）を利用し、以下の結果を得ました。ここに盗用がないことを報告します。チェックした論文は最終版であり、事務へ提出する論文と同一です。

The following is the result of checking plagiarism in my thesis using Turnitin. I hereby confirm that there is no plagiarism. The checked document is the last version and is the same with the thesis to submit to the GSID office.

|  |  |
| --- | --- |
| チェックした日Date of Check |  |
| 提出論文タイトルTitle of Thesis |  |
| 類似率　Similarity Rate | 　　　　　　% |
| 類似率が15％を超える場合の理由及びその他Reasons for Turnitin similarity rate higher than 15%　and others |  |

注意 Turnitinに論文の本文のみのファイルをアップロードすること。本様式を修士論文の2ページ目とすること。

Note: Upload a file of the body of the thesis onto the Turnitin. This form should be the second page of the Master’s thesis.

**修士論文提出時の確認事項**

論文の提出に際して、下記の項目を確認し、研究科指定の作成要領を満たしていることを

確認しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 確認事項 | 学生確認欄✓ |
| （1）論文題目について |
| ・主題については、英語の場合はキャピタライゼーションルールに則る。 | 　 |
| ・副題の付し方については以下の通りとする。英語論文の場合　　「：」（半角のコロン）で区切る。日本語論文の場合　「－」（全角のダッシュ）で区切る。 | 　 |
| （2）表紙について |
| ・20XX年度修士論文、論文題目、研究科名、学生番号、氏名、指導教員、修了予定年月を記載すること。 | 　 |
| ・上部の「20XX年度　修士論文」の年度は、学年暦の年度を記載すること。 | 　 |
| ・下部の「20XX年9月または3月」は、修了予定の年月を記載すること。 | 　 |
| ・氏名の表記は、学位記記載事項確認書で確認した氏名と完全に一致していること。 | 　 |
| 　　ダイアグラム  自動的に生成された説明　　　 |
| （3）レイアウトと形式について |
| ・論文本体は、最初の頁から最後の頁まですべてそろっていること。ページ番号を付すこと（ページの下部、中央）。 | 　 |
| ・論文の巻末に付されている注、参考文献一覧などはすべて存在すること。 | 　 |
| （4）TACTへの提出について |
| ・ファイルはpdfファイルであること。 | 　 |
| ・ファイルはTACTの指定箇所にアップロードすること。 | 　 |
| ・TACTへの修士論文の提出前に、指導教員の最終承認を得ること。 | 　 |

本様式を修士論文の３ページ目とすること。

※以下、論文要旨、論文本体の順に記載すること。

不明点がある場合には、指導教員の指示に従うこと。